

令和7年度開南大学夏期中国語英語・台湾文化研修 報告書

総合管理学部 総合管理学科1年

清水 美采

私は、夏休みの8月17日から31日までの2週間、台湾桃園市にある開南大学の研修に参加しました。研修では主に午前中に授業、午後からは文化体験や観光というスケジュールで生活しました。

【授業の様子】

授業では英語クラスを選択しました。授業は最初に前日したことの振り返りから始まります。観光地を散策して気づいたこと、感じたことを各々文章にし、自由にみんなの前で発表しました。その後、一つのテーマについて論じてある文章を読解し、語彙を確認したり、その文章について意見を述べたりしました。この授業を通して、英語の基本的な4技能はもちろん、自信をもって堂々と発表できる力も手に入れることができました。



【成果発表会】

研修の最終日には成果発表会が開催され、2週間の学習の成果を披露しました。私のチームは、「Differences between Japan and Taiwan」というテーマで私たちが気付いた日本と台湾の違いを発表しました。惜しくも優勝は逃しましたが、学習の成果が十分に発揮できたと思います。

【観光や文化体験】

2週間を通して、様々な観光スポットを訪れることが出来ました。その中でも私のお気に入りの2つを紹介します。

1つ目は中壢観光夜市です。この夜市は、桃園市で最大規模であり、地元住民、観光客の両方が訪れる場所です。様々な食べ物、雑貨が売ってありましたが、私はQQ球という芋の揚げ物や、蛇のスープを食べたりしました。台湾文化を大いに堪能出来る場所でした。2つ目は九份です。ジブリ映画「千と千尋の神隠し」の舞台になったと言われている場所で日本人にも非常に人気の観光地です。私たちは昼に訪れましたが、街並みも趣があり、展望台からは綺麗な海が一望できて、夜の九份とは違った活気のある雰囲気でした。



【最後に】

私は今回の研修で初めて海外を訪れました。最初は様々な不安がありましたが、現地の学生チューターの皆さん、クラスメイトのおかげで最後まで楽しむことが出来ました。また、台湾の生活様式を目にし、様々な疑問や好奇心が湧いています。これらの疑問や好奇心をこれからの学生生活の学びに活かしていきたいです。